



横芝町長  
實川堅司郎

# 町発展に 一層努力

い町づくりを図っているところであり  
ます。

横芝町は、昭和30年2月1日に、横芝町、大総村、上界村の1町2村が合併し、新町制を施行して以来、本年で40周年を迎えることができました事を、町民の皆様と共にお慶び申し上げます。

その間、本町をとりまく社会情勢や生活環境は大きく変化し、困難に遭遇して参りましたが、歴代町長をはじめ、町民の皆様が郷土愛に燃えながら英知を結集した結果、今日まで大きく発展して参りました。

本日の記念式典を挙行するにあたり、ご尽力下さいました皆様方に対し深く敬意と感謝を申し上げる次第です。

現在、町は合併当時の第一次産業を中心とした時代から産業構造も大きく変化してきており、特に、昭和53年5月新東京国際空港の開港後は北総台地を中心として大きく変貌してきております。このため時代に即応した農・工・商バランスのとれた町づくりを進めながら、環境の整備をはじめ教育・福祉の充実、更には道路網の整備、産業の振興等、新し

また、町単独事業のほか、海岸整備事業や千葉東金道路2期、横芝下総線バイパス道路の整備計画等も進められており、今後は町の重要なア

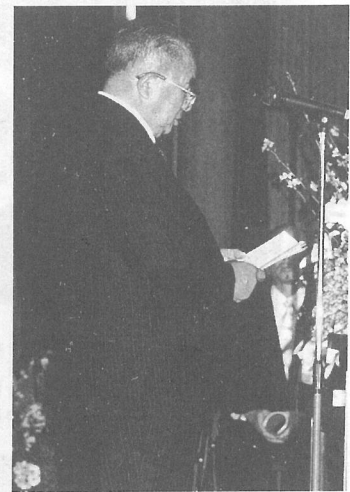
クセスとなってくるものと思われま

す。一方地方拠点都市法による地域指定により、山武、長生地域がその指定を受けるなど21世紀に向けて大きく変貌しようとしており、明るい未来が想像されます。

町は40周年という節目を契機として、海と川、そして緑豊かな自然の恵みを生かし、先人が築かれた伝統を受け継いで21世紀に向かって地域住民の幸せを願い、町の基調テーマであります豊かな自然みなぎる活力

として……心をつなぐ「まち」づくりを基本として一層の努力をする決意でございます。

今後とも横芝町発展のため、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。



▲受賞を代表して謝辞を述べる前町長の佐瀬哲司さん



▲式典終了後の祝賀会 (B&G 体育館)



横芝町議会議長  
齊藤重宏

# 町の歴史を 重ねたい

昭和30年2月1日、横芝町、上界村、大総村が合併して新たに、山武郡横芝町という大きな町が誕生し、発展を重ねてここに40年が経過しました。

さまざまな紆余曲折はありましたが、町政を中心に、町民ひとりひとり、総力をあげての努力と協力が、着々とみどりつつあるという確かな手ごたえを感じます。お互いにこの意義深い日を心から喜び合いたいと思ひます。

過ぎてみれば短いような気もしますが、戦後50年、新町制施行後40年という月日の歩みは、文化に産業に福祉に経済に、そして環境に教育に並々ならぬ大きな変化と向上をもたらしました。今日のこの横芝町の

姿を40年前に、この日本の姿を50年前に確実に予想し得たものがひとりでもあったらどうかという感慨に打たれます。

「賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ」という教えがあります。この40周年を節目に我々は、町の歴史を基盤に、県の、国の、そして世界の情勢の推移に改めて眼を向け、より充実した未来の町の姿を描きつつ、歴史を重ねて行きたいものだと考えます。

町政を預かる議会と致しましても、より一層の町民の皆さんの声に耳を傾け共に考え共に行動し、「山武に横芝あり」の実現をめざして、リーダーシップを発揮していきたい。そんな大きな願いをこめて祝辞と致します。